

プラネタリウム & 天体観察会

～「星取県」で 昼も夜も星空満喫～

定員15名で実施中

1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員による生解説、後半は、オリジナル番組「ハッブルが見た宇宙」を投影しています。

テーマ番組・オリジナル番組「ハッブルが見た宇宙」9月16日から投影中

ハッブル宇宙望遠鏡が打ち上げられて、2020年で30年となりました。プラネタリウム番組でハッブル宇宙望遠鏡の30年の歴史を振り返りながら、これまでの成果や美しい宇宙の姿をご紹介します。音楽は障がいがありながらも音楽活動をされている、鳥取県出身のサウンドクリエイター「Yuta Itani (井谷優太) <https://www.yutaitani.com/>」さんが完全オリジナルで制作されました。

2. 103cm大型望遠鏡で天体観察会

定員15名、要予約で実施中

103cm大型望遠鏡を使った「天体観察会」は、現在、曜日に関係なく予約制でおこなっています。新型コロナウイルス感染防止対策として、①定員を15名 ②事前予約 ③マスク着用④緊急連絡先の提出 でおこないますので、ご了承ください。個人の方（お一人からご予約できます）は予約日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は1カ月前までにご予約の上ご利用ください。

10月の注目天体情報

☆テレビ観望システム

「3密」軽減と観察会の魅力アップのため、テレビ観望システムを整備中です。今後、観察会での待ち時間での説明やインターネットでの配信などで活用予定です。



☆見ごろの星座

見ごろの星座は「やぎ座」と「みずがめ座」です。どちらも明るい星が少なく、見つけにくい星座です。土星の左側の何となく逆三角形っぽい星の並びがやぎ座です。

みずがめ座はとても大きな星座ですが、やぎ座よりもさらに星の並びに特徴がありません。「秋の四辺形」と秋の星空ただ一つの1等星・フォーマルハウトから、大まかな場所を確かめましょう。



☆準大接近した火星が見ごろ。木星、土星は見納め(10月中旬まで、20時の観察会のみ)

地球のすぐ外側の惑星が火星、さらにその外側に木星、土星があります。火星は最接近後もしばらく見頃が続きます。接近しているときに模様を見るチャンスですので、103cm大型望遠鏡で観察してみましょう。木星、土星は低くなってそろそろ見納めです。10月中旬までの20時の観察会でしか見られません。

☆2020年最小の満月

10月31日(土)に見られる満月は、10月2度目、そして2020年最小の満月です。この日は本田実氏没後30年の記念観察会をおこないますので、望遠鏡で観察してみましょう。

